



さんかく 39号

過去の「さんかく」はこちらから
右QRから、
市ホームページ「さんかく」
へ(カラー版)



新しいライフスタイルの実現に向けて

～あなたはジェンダーにとらわれている？いない？～

職場についてのジェンダーチェックをしてみましょう。
以下の質問に対し、「はい」か「いいえ」で
お答えください。



「ジェンダー」とは

- 「男らしい」「女らしい」という社会的なイメージ
- 「家事は女性がやるもの」「力仕事は男性がやるもの」といった社会的な役割分担のこと

	はい	いいえ
①育児休暇を男性がとるなんて考えられない。育児休暇は女性がとるべきだ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②女性に求める能力と男性に求める能力は違う。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③女の上司の下で働くのは働きづらいと思う。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④結婚や出産をする女性が退職するのは、職場の環境に問題があるというより、女性自身の働く意欲の問題だ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤男性社員が女性社員を「ちゃん」づけで呼んでも違和感を感じない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥女性の管理職が少ないのは女性自身の意識が低く、やる気が足りないからだ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦子育ても仕事も、と望む女性はわがままだ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑧就職面接の時に、女性に結婚や出産をしても仕事を続けるかどうか聞くことは重要だ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑨セクハラ、セクハラと目くじらを立てる女性はおとなげない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑩「あなたは職場の花だ」という表現は、女性に対する誉め言葉だ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

「いいえ」の数はいくつありましたか。判定結果は次の通りとなっています。

いいえ の数 0～4個	あなたは、ジェンダーにとらわれすぎていませんか？あなたのような考え方では、女性のやる気がそがれてしまいます。また、「働きバチ夫と専業主婦」という高度経済成長期向けの労働スタイルを引きずって いては、社会の変化に取り残されてしまいますよ。
いいえ の数 5～7個	あなたには、まだジェンダーにとらわれている部分があります。仕事のために、自分や家族を犠牲にして いませんか？男女がともに仕事上の責任と家庭上の責任を両立させながら働くことができるような方 法を一緒に考えましょう。そのためにも、男性、女性ではなく、個人の資質に目をむける意識が必要です。
いいえ の数 8～10個	あなたは、ジェンダーにとらわれない考え方を持っています。男女とも仕事も家庭も分かち合う理想的な 生活スタイルですね。あなたのような意識の人が増えれば、職場はもっと居心地がよくなり、個人は生き 生きと仕事ができるのではないのでしょうか。21世紀はあなたの時代です。

・出典…青森県男女共同参画センター ジェンダーチェック URL <http://www.apio.pref.aomori.jp/gender/about/check/>



ジェンダーチェックの結果、みなさんはどのような結果になったでしょうか？
幼少期のころからの環境も影響し、考え方が染み着いてしまっているため、
ジェンダーについてとらわれないようにすることは難しいことです。



他の
ジェンダー
チェックは
こちらから

令和6年6月に「男だから～」「女だから～」と言われたり聞いたりした経験について、LINEアンケートを実施したところ次のような意見がありました。



男女の別なくその時の状況によって役割分担を話し合うべきだ。
はじめから決めつける慣わしは良くない。(70歳台男性)



男は家庭を持ってこそ一人前、女は家庭を守り子育てをするというのは
日常茶飯事のように耳にしてきました。でも今では一度しかない人生ですから自分らしく生
きていこうと考えています。男だからとか女だからという言葉は今の時代にはあいませんね。
自分らしく家事も仕事も出来る人がやればいいと思います。(60歳台女性)

男女が共に暮らしやすい新しいライフスタイルの実現に向け、行動してみましょう。

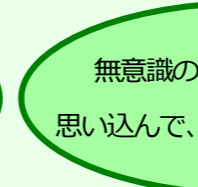
～気づき～

「ジェンダー」に対する無意識の思い込みに気付くことが第一歩です。

ジェンダーチェックをやってみて気付いたこともあるのではないのでしょうか。



ジェンダーチェックで
いいえが5個しかつかなかった！
思い込みで発言してたかも。



無意識のうちに当たり前だと
思い込んで、あきらめていたかも。

～家庭～

・家族における役割をあらためて話し合っ
てみましょう。

部屋の掃除や
料理をするよ



皿洗いや台所の
掃除を手伝うよ

不足している食材や調味料の
買い物しておくよ



洗濯ものを
干したり畳んだり
して手伝うよ

～仕事～

- ・女性リーダーが活躍できる
社会になるように制度が
充実されることを期待します。
- ・人それぞれのライフスタイルを尊重し、
お互いにサポートしあえる社会を
目指しましょう。



編集後記

災害では「想定外」が多く「正常化の偏見(起きてほしくない事を排除し安心する心の働き)」
が出てきます。「男女平等化の偏見」探してみ
てください。(K.I.)

この情報紙は市民からの公募による編集委員によって作成されてい
ます。女性(Female)と男性(Male)がともに支え合い、対等な立場
で社会(Society)を形成することを願って！

2025年(令和7年)2月25日発行
ふるさと未来戦略課男女共同参画室(内線 2238)